

那須岳の火山活動解説資料（平成 24 年 6 月）

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成 21 年 3 月 31 日に噴火警戒レベルの導入に伴い噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報警戒事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 1、図 2－①②）

那須湯本（山頂火口（茶臼岳）の南東約 5 km）に設置してある遠望カメラによる観測では、茶臼岳の噴気は少ない状態で、噴気高度は火口縁上 100～200m で経過しました。

・地震や微動の発生状況（図 2－③④、図 3※）

那須岳付近を震源とする火山性地震の発生回数は少なく、地震活動は静穏に経過しました。
火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図 4）

GPS 連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められませんでした。

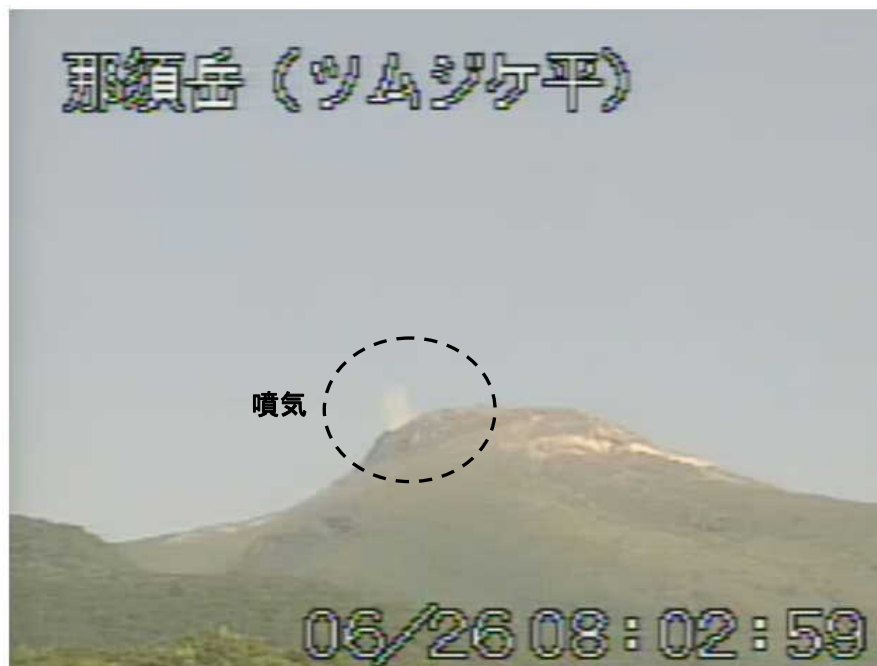


図 1 那須岳 茶臼岳の状況（6月26日、那須湯本ツムジケ平遠望カメラによる）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 24 年 7 月分）は平成 24 年 8 月 7 日に発表する予定です。

※この記号の資料は気象庁のほか、国土地理院、東北大学、東京大学及び独立行政法人防災科学技術研究所のデータを利用して作成しています。

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ(標高)』を使用しています（承認番号：平 23 情使、第 467 号）。

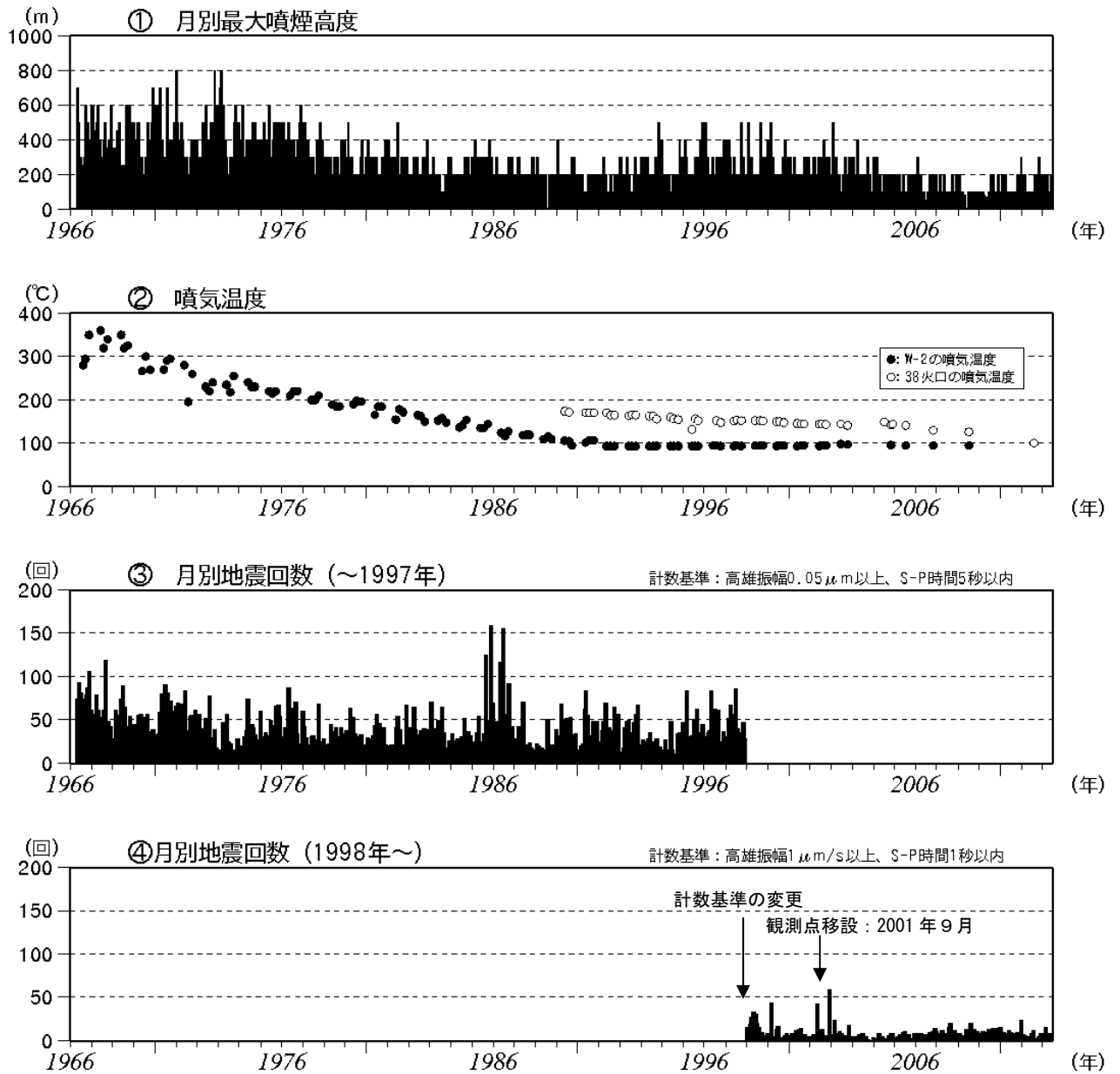


図2 那須岳 火山活動経過図 (1966年1月~2012年6月)

- ① 定時観測 (09時・15時) による茶臼岳の月別最大噴煙高度
- ② 噴気温度 (W-2 及び 38 火口はいずれも茶臼岳西側斜面の温度観測地点)
- ③ 那須岳周辺も含めた月別地震回数
- ④ 那須岳山体付近に発生した月別地震回数

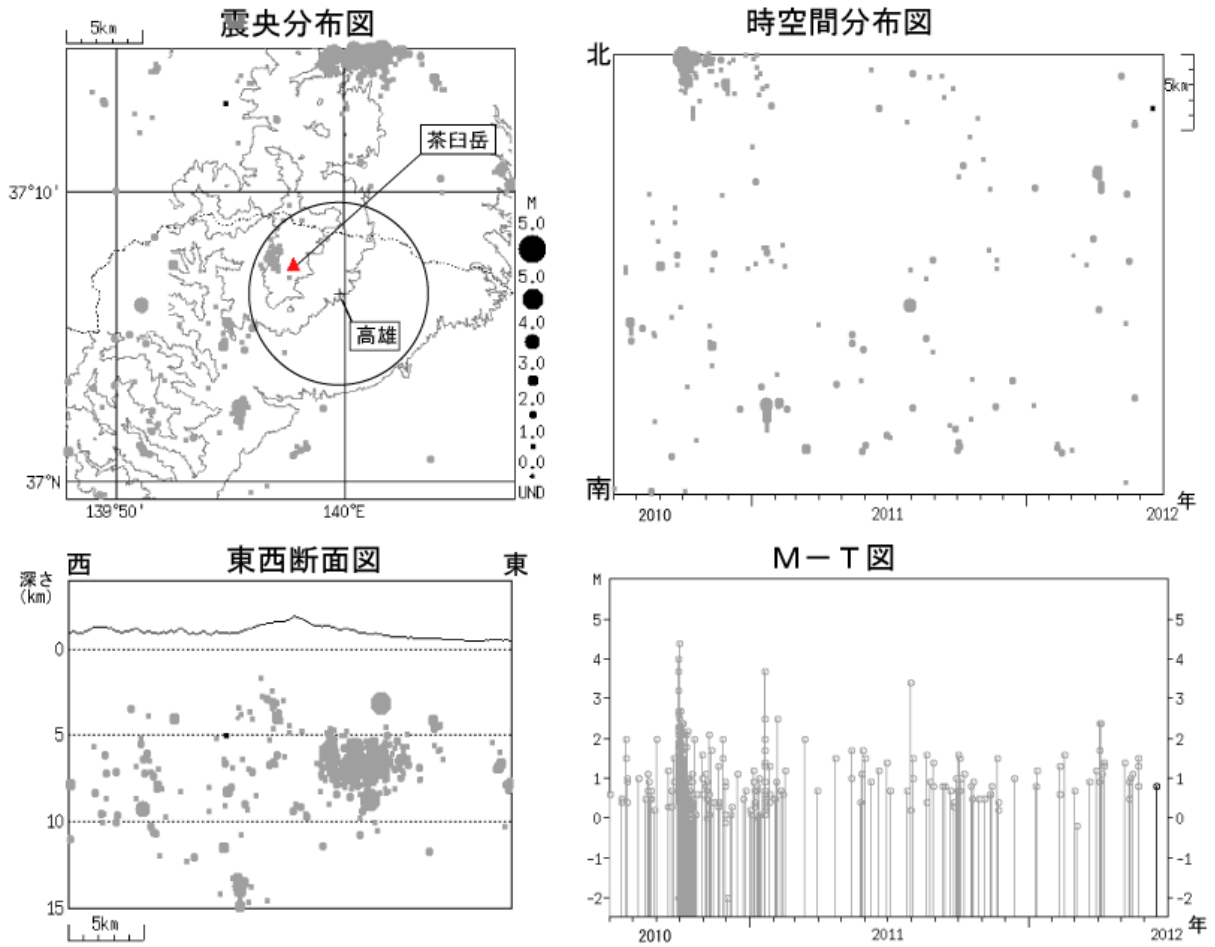


図 3※ 那須岳 広域地震観測網による那須岳付近の地震活動（2010 年 7 月～2012 年 6 月）
 ●：2010 年 7 月 1 日～2012 年 5 月 31 日 ●：2012 年 6 月 1 日～6 月 30 日
 図中の円は図 2-④の計数対象地震（高雄で S-P 時間 1 秒以内）のおよその範囲を示します。
 M（マグニチュード）は地震の規模を表します。
 計数対象の火山性地震は少ない状態で経過しました。
 図中の震源要素は一部暫定値で、後日変更することがあります。

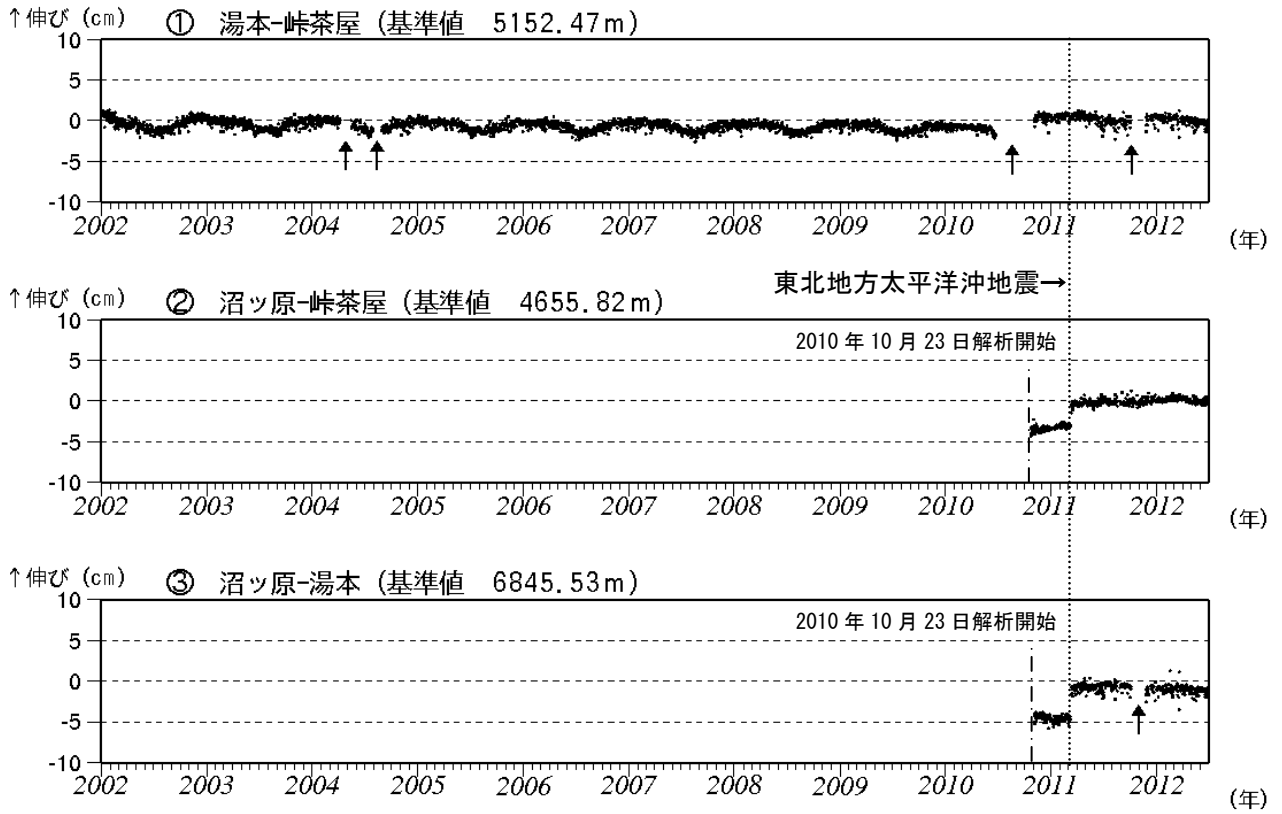
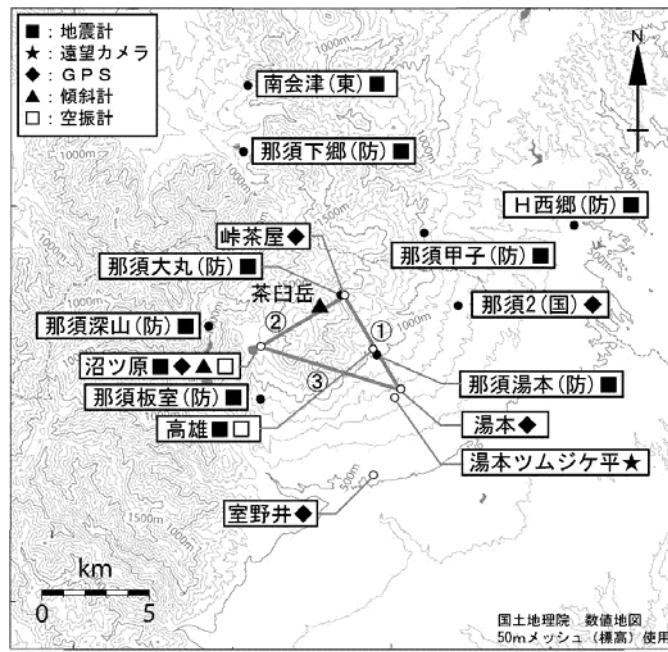


図4 那須岳 GPS 連続観測による基線長変化 (2002年1月~2012年6月)
 2010年10月以降のデータについては、電離層の影響を補正する等、解析方法を改良しています。
 基線長変化にみられる冬季の伸びと夏季の縮みの傾向は季節変動による変化です。
 2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震の影響により、データに飛びがみられます。
 ①~③は図5のGPS基線①~③に対応しています。グラフの矢印部分は欠測を示します。



小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
 (国) : 国土地理院、(防) : 防災科学技術研究所、(東) : 東北大学

図5 那須岳 観測点配置図

GPS 基線①~③は図4の①~③に対応しています。